

大阪市浪速図書館におけるSDGs学習会						
取組開始時期	9月26日	取組の カテゴリー	⑪ 教育・研究	応募部門 (○を付ける)	○	PF会員間連携部門 一般部門
1. 団体名	特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会	2. 連携先 の団体	◎大阪市(浪速区役所。浪速図書館) ◎地方創生SDGs官民連携プラットフォーム ◎独立行政法人国際協力機構(JICA)			
3. 取組 目的	浪速図書館が展開する図書展示「SDGsって何だろう」展の取組みの一つとして、区民の方にSDGsを自分事に置き換える学習会として「講話とたまねぎ染め体験」を実施する			4. 関連する ゴール		

5. 取組経緯

①大阪市浪速区の担当者より、浪速図書館のSDGs WEEKの取組みとして、講師依頼を受けました。
 ②打ち合わせにおいて、大阪市も地方創生SDGs官民連携プラットフォームに登録されていることから、連携事業に該当すると判断し、副読本の手配は、浪速区役所が行いました
 ③大阪環境カウンセラー協会は、かねてより、知的障がい者の社会貢献を目指す取り組みを行ってきたので、今回活動に参加してもらいました。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

いま話題のSDGsについて、一緒に考えたり、体験したりする事の意義を感じ、ささやかな行動が日々の積み重ねによって、ゴールに近づくことを参加者全員で共有できました。

画像（会員投票の際のサムネイル）



取組のポイント（3つの視点）

- 地方創生SDGsの視点**
- ①たまねぎの皮の染色液で、エコバックを製作する→レジ袋の削減
 - ②親子または友達同士で、自分たちが行っているSDGsを考え、発表する。
 - ③知的障がい者のスタッフ参加→障がい者の社会参加
- ステークホルダーとの連携**
- ◎大阪市浪速区役所→講師依頼。
浪速図書館→実施場所の提供
 - ◎地方創生SDGs官民連携プラットフォーム事務局→副読本手配
 - ◎独立行政法人国際協力機構(JICA)→副読本提供
 - ◎大阪環境カウンセラー協会→講師派遣(玉ねぎ染め準備含)
- モデル性・波及性**
- ①社会事情について、雑談はあっても、話し合う機会が少ない日常において、自分事に換言することの大切さに気付く。
 - ②年齢・性別など関係なく、退屈することなく、参加者全員で楽しみながら学ぶ
 - ③他の自治体絡みの事業所から問い合わせがありました